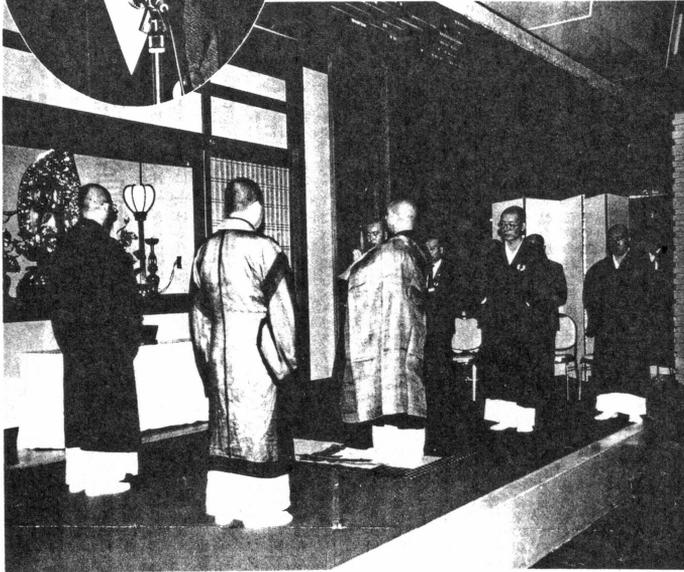




◀ 神野哲州新会長



▲ 総会前の本尊上供

# 総会特集

## 昭和62年度 全国曹洞宗青年会総会開催



発行所  
曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区芝  
2-5-3 曹洞宗吉祥行内  
電話 神野哲州  
TEL.03-454-5411P

青年宗侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年宗侶の自覚を促そう  
地域における活動の連携を深めよう

### 第七期 新会長に神野哲州君(愛知) 社会的価値を持つ活動の展開を

総会特集	1
総会報告	2、3
総会資料	4

さる五月十九日午後二時から宗務庁において、服部出版部長、門脇初代会長、佐藤三代会長、桜井五代会長、御臨席のもとに、全国より百余名の会員諸兄の出席を得て、全国曹洞宗青年会総会が開催された。

今回の総会は定例の事業会計の報告に加え新執行部の選出が最大の議題であった。会長の選出は規約にもとづき、選考委員会(我妻耕道委員長)により選出され決定をみた。

総会はず初めに昭和六十一年度の事業会計報告に関する議案の承認後、選考委員長によって次期執行部の選考経過が説明され、第七期会長には愛知県神野哲州君、副会長には宮城県我妻耕道君、同新潟県佐藤孝一君、同愛媛県中野宣明君が紹介され、満場の拍手で承認した。

(執行部関連記事一、三画)

『社会に繁栄する曹青作り』をスローガンに新会長を中心とする執行部の今後二年に渡る活躍が期待される。

### 破草鞋

サアー同志諸君 草鞋を履いて旅に出よう。  
自己研鑽の旅に出よう!  
第七期、神野哲州新執行部の発足である。その席上、初代会長門脇元老師曰く「民衆に安心を与えなければならぬ我々宗教師が、これだけいいかと思配されている。何んか熱い叱咤激励ではないか。」

「雲のごとく定まる住処もなく、水のごとく流れゆきて、よる所もなき僧とは言うなり、墨染の衣、背後に笠をかけ、錫を手に往來を、かちでゆく草鞋履の修行僧が眼に浮ぶ。草鞋が桐下駄に変わり、高級乗用車になったところだ、とどまるをしろめ墮落がはじまったのか?寺を董し、袒露崇拝に基く先祖供養招福消災の加持祈禱の祭司としての役割に甘んじている。その姿勢から何が生まれ、何を覚えることが出来るか。

祖師の教えが世の帰依を受けたのは、私意に随って死なんとの覚悟をもって、人としての真実の在り方を衆生に示し得たからである。私達もまた、仏陀の弟子として身をもって真実の教えを示さなければならぬ使命があるのだから……」

過日、自らの足で敬尊の足跡を辿られ、ついに彼の地に果てた権野能敬師の「インド巡礼一〇八九日」と題する遺稿集を眼にする機会があった。その紹介の中で「今の僧は仏陀の弟子たる資格をもちうるか、という自分への問いかけを失ってはいないか」と警鐘している。

寺を董し、妻子を養っていく中で、祖師方が血みどろの修行の果てにつくりあげてくれた衣の徳を借り、一体どのようにして、この使命を果していけばよいのだろうか。失いかけた信頼を取り戻していけばよいのだろうか。

旅だ 旅だ  
旅に出よう  
草鞋が摺切れ、破れるまで  
人生一生修行の旅だ

# 大衆教化の接点を求めて

## 社会に繁栄する曹青作りを目指して(所信)

第六期執行部によって打ち出された「団体加入」の方式は多くの青年会の理解を得ることができました。今期執行部もこの形態を継承いたしますが、これによって充足以来懸案となっていた組織の充実は達成されるものと判断いたします。

現在の全曹青は確立した組織を基礎に、改めて充足の原点を押し進める時期であります。

全曹青は充足以来「大衆教化の接点を求めて」をテーマにして活動を進めてきました。そして具体的な項目として青年宗侶のエネルギーを結集しよう。社会的価値ある活動をしよう。青年宗侶の自覚を促そう。地域における活動の連携を深めよう。を掲げています。ここに宗門青年宗侶の活動の願いが凝縮されています。



▲第6期吉岡会長(右)より第7期曹青を引きつく(神野新会長(左))

すなわち近年、仏教の社会性が低下しつつあります。社会における存在価値を見い出せない物が必要であり、衰退していくものではありませんが、仏教はこの社会で求められなければならない。低下していく現実には我々は責任を感じるべきであります。前に上げられている項目は、いずれも僧侶の社会性を求めたものです。

仏教の興隆は在家信者によって維持展開されれば理想であります。が、現況はそこまで整備されていません。青年宗侶が先頭に立って活動を進めねばならない時であります。宗侶の社会性は活動を通して向上し、もって宗門の興隆ひいては仏教の社会性向上に繋がるものと思っております。

今期は「曹青活動は目を見張るものがある」といわれています。さくらに混迷する社会に光を投げかける社会的な活動を展開することによって、社内で存在感を高め、仏教の社会性を高めていくことが可能です。アヒルが泳ぐの如く、青年会は同世代の宗侶の集まりとし、今なすべき活動に積極的に取り組むべきであります。

全曹青は各地の曹青を統轄する団体ではありませんが、地域曹青の連絡調整機関として、曹青活動に対する示唆・支援を行い、結果を促しながら青年宗侶として、なすべき社会的価値を持つ活動を展開し、地区曹青とともに仏教の社会性向上に計りたいと思っております。

今期はさらに、活動の原点を確認しつつ次の項目を上げて活動いたします。

- (一) 曹青の集い、運動の充実
  - ① 曹青の集い、運動の充実
    - 全曹青の結成は、曹青の集いを実践する中から発生しました。「曹青の集い」の運動は、十年に及ぶ歴史があります。曹青の運動は「曹青の集い」運動と称してまで過言ではありません。この運動こそ青年宗侶が社会性を望んだ活動の原点であります。この充実を図りたいと思っております。
    - ② テーマ「生命」
      - 過去、期にわたって「食」をテーマに研修を深めてまいりました。今期は「食」の延長として新テーマ「生命」を掲げて
- (二) 研修の充実
  - ① 研修委員会の充実
    - 研修委員会を中心に、各員の資質向上を目指して各種参考資料を提示し、各地の活動に供します。
  - ② 新し「曹青の集い」の形を求めて
    - 各地で新形態の「曹青の集い」が興っています。今期は特にアフターケアの問題を中心として新形態を提示してみたいと思えます。
  - ③ 全曹青としての活動
    - 「団体加入」によって全曹青は全青年宗侶によって構成される全国で唯一の会という色彩がさらに強くなりました。全宗門をリードできる事業を計画いたします。
  - ④ 青年宗侶の声の反映
    - 従来組織委員の「組織委員会」の性格を変え、委員の意志反映を図る委員会として積極的に青年宗侶の声の反映を図ります。
  - ⑤ 全青年宗侶が積極的に取り組む活動
    - 「大衆教化の接点を求めて」のテーマの下に、宗門興隆ひいては仏教の社会性を高める活動を展開します。
  - ⑥ 宗務局主催「曹青を聞く会」の協力
    - 団体加入以後曹青には宗門青年会という意味あいがある明瞭な活動があります。宗門では今年度は全国五か所で「曹青を聞く会」を開催しますが、各曹青でも積極的な協力体制をお願いします。また、「曹青を聞く会」は「曹青の集い」運動の新しい形態として、今後必須な活動となりま

す。宗門布教への協力の中から青年会のため「曹青を聞く会」をまとめてみたいと思っております。

二、曹洞宗ボランティア会の活動支援

宗門の産んだ世界的活動である「曹洞宗ボランティア会」の運動は青年宗侶にとって積極的に支援すべき活動であります。全曹青としての活動支援はまた各地の曹青で支援活動が行なわれるような協力体制をとりたと思えます。

全曹青には過去六期にわたりそれぞれ展開されてきた十二年

の貴重な活動実績があります。また、執行形態として各委員会が形成されています。今期も現在の執行体制を基礎としますが、委員会については研修面の充実を図る意味で従来合同であった「事業研修委員会」を「事業委員会」「研修委員会」の二つにして対応いたします。

以上活動の基本姿勢を述べてまいりましたが、各地より各委員会に充実したメンバーをお送りいただいたいますので、事務局委員会・九となつて取り進む所存です。ご協力の程お願い申し上げます。

## 会のスムーズな運営を!!

事務局長 村松延行(静岡)



認された取次文草により、各地曹青会との協力をいたし、会費納入及び各種事業への補助金の円滑な支給を初め、全曹青役員を積極的に派遣、地方曹青との親睦・融和、また、未加入の曹青に対しては、誠意ある呼びかけをして行き、全曹青の名に相応しい、全国青年宗侶の名にして行きたいと思っております。

また、多岐に渡る、各委員会の事業等も、曹青通信等において、お知らせしたいと思っております。

**お経ビデオ**

生活にひろがるやすらぎの世界

日常勤行シリーズII

**曹洞宗**

その教えとお勤めの作法

第一部 曹洞宗日常勤行式  
お経の唱え方と作法のチェック

第二部 お仏壇のまつり方とお勤めの作法  
仏仏の意味と使用作法  
お線香の作法・経本を持ち方・合掌、  
礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法、木魚  
小さんの打ち方 他

第三部 道元禅師のご生涯とその教え

●小社へ直接ご注文の場合は、ご希望の商品名を(月かVHSかも)はっきりお書きのうえ下記宛現金書留にてお申し込み下さい。確認後、商品をお送りします。(郵送料は小社にて負担します)

〒110 東京都台東区台東4-27-5 秀和衛視ビル  
東芝EMI(株)マーケティングセンター  
TEL(03)837-0634

制作・発売 東芝EMI株式会社  
●ご注文は、お近くのレコード店、ビデオ取扱店へどうぞ。

全国曹洞宗青年会の監修のもとに完成!!

●Bete hi-4i/カラ-49分  
TT60-3028FI ¥6,000

●VHS hi-4i/カラ-49分  
TT60-3028HI ¥6,000

### 総合企画委員会 部門委員会を 一つ新設



弘道委員長  
小原 弘道  
総合委員

前期執行部からの居残り組の一人ですが、今回、総合企画委員長という大役を任せつけられ、吉岡副会長がやり残したこと、神野新会長が目指すことを、企画、実行していきたいと考えています。

前会長は、「団体加入」の方式で、全国に全曹青への理解を深められました。私達もそれを踏まえて、さらに未加盟の地域にも、全曹青の在り方、考え方を説明し、理解を求めていくことが、現体制に課せられた重大な使命だと考えます。



第6期 吉岡副会長

全曹青第六期会長の退任することとなりました。

名譽ある大役を拝命したその日から、全曹青の事を汚さぬよう職責を全うすることに努めてまいりました。幸いにして素晴らしいスタッフに恵まれ、また各地青年会の絶大な協力を得ることができ、二年間の任期を大過なく円成することができました。これ偏らに皆様のお力添えのおかげと、紙面を借りて深く感謝お礼申し上げます。

任期中に費した時間的・心理的

新設いたしました。

この委員会は組織、事業、研修、広報の四つの委員会の総合調整機能をはたすが、役割だと考えます。全体の流れの中で、今までバラバラに機能合っていたものを、一つの流れの中で、互いに補い合い、作用し合う様に、そして俯瞰的な立場からの会の運営、執行に努力をしたいと思ひます。

### 組織委員会 会員の意志反映を 図る



達道委員長  
小島 達道  
組織委員

加盟団体 三六団体  
会員総数 二八九九名  
本年五月十九日現在の組織動態であります。まずもってご報告申し上げます。

(抜) 組織委員会で是新会長の

経済的負担はそれなりに大きく、全国という大組織を掌握し運営していくことは必ずしも容易なことではありません。

### 第六期全国曹青 会長を終えて 吉岡棟憲

は決して浪費ではなく、自己を鍛へ磨いてくれた応分の経費であり、何物にも替へがたい貴重

な体験が出来たと思っております。さらに自分は、本当に幸福

者だと心から感謝しております。特に単位曹青の枠内では知る

ことの出来なかつた各地青年会の活動から、新たな教化の方策

方針に従い、

「団体加盟の継続及び未加盟団体への積極的なアプローチ」(青年宗侶の意見反映を企画し、全国状況等の把握)、「事業・研修両委員会と共に、今期テーマの地方展開の画策という二点を旗印として、名簿の管理及び整理を担当しながら委員会を運営致しました。」

特に「青年宗侶の意見反映

に関して、各団体曹青代表者の評議員諸師にアドバイスを受けて用紙を送付させていただきました。

組織の一層の充実をはかり、「二世紀の宗門」というキャッチフレーズに、より大きなテッパンが描けるような活動を展開する礎とご理解賜り、青年宗侶としての忘無き声を寄せて下さいますようお願い申し上げます。

今朝、山梨県青年会より団体

### 研修委員会 悩みを生かそう



達道委員長  
桂川 達道  
研修委員

先般、ある会社の社員教育の一環として行われている、一泊一泊の手伝いに行つてまいり

ました。

全国から集まつた高校卒業の新入社員約三百名が、参禅に

来られています。若し人達と接する機会が少なく、この様な座禅会、若し人達の前で法話をする勉強にもなりますので、都合よくかき顔を返すようにしていただきます。自攻での法話では若し人達の反応はあり

法話の準備には大変時間がかかりましたが、天上天下唯我独尊」の話題を準備して法話に臨

みました。参禅者に何れなく「花まつり」を知っていますかと尋ねたところ、知っているのは一人だけです。ほとんどの人が聞いたことなもと言っていました。大変ショックを受けました。

大袈裟に言えば、法話も、日頃

の青年会活動も、仏教興隆のために、微力ながらも一翼を添へていまして、みごとに打ちめされたのです。

無宗教の時代と言われつつも、古いなどに興味を示す若い世代の様な世代にこそ、禅をアピールするには、と考えさせられます。

各地区の曹青の活動の前に、もう一度よくの現実を見せねばならないように思います。単に先輩が作った年間行事を消化しているだけなら、曹青活動は社会とますます遊離してしま

います。この現実をなんとかき方

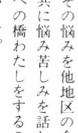
向に持つて行きたいという願心

が必要でです。曹青仲間を単なる遊び友達に輪の広がりを失

まうのか、願心と目的を持った仲間集いとすれば、皆で考

えなおさねばなりません。自己の悩みが、地区の曹青に広が

### 曹青委員会 ニューメディアの 開発に全力



昭光委員長  
村岡 昭光  
曹青委員

全曹青に与えられた仕事は、その悩みを他地区の会員に伝え、共に悩み苦しみを話し合える場への橋わたしをする、ことだと思います。悩み苦しむことは、青年僧侶の特権ではないでしょうか。

全曹青の組織確立が大きく前進したことを踏まえ、全会員が協賛参加できる事業を提起して

行きます。

来年度の四月から奈良で初まる「奈良・シルクロード博」参画の検討を初め、曹洞宗ポラランティア会の支援を見直し、各地の曹青が支援体制を組むような事例を紹介するとともに、会員の親睦を深める青年僧侶として必要な事業の企画を提案したいと思っております。

現在、パソコンの普及には目をみはるものがあります。このパソコンを使い、通信網を利用して仏教情報の提供が出来るようなニューメディアを開発し、全国二万余の曹青パソコン通信会員と相互通信が出来るような物を作りたいと思ひます。

当委員会開発した仏教教化

用ソフトを主力し、仏事相談や

法話のサービズ、寺院の事務管理などを進めることが可能になる

はずでです。

また、こうしたシステムを紹介、各単位曹青の講演会へ講師の派遣なども実行して行きたいと考えております。

寺院墓地の新設 増設 改葬 お任せください。

新しい折りの文化を創造する  
メモリアルアートの大野屋

本社/〒187東京都小平市栗園町3-2-5 大野屋ビル ☎0423-44-4111

寺院墓地の二相談受付は

- 大阪支店 ☎06-344-7777
- 横浜支店 ☎045-312-4111
- 名古屋支店 ☎03-486-7777
- 浦和支店 ☎0488-32-4111
- 相模原支店 ☎0427-54-4111
- 船橋支店 ☎0474-24-7111
- メモリアルカルチャーセンター ☎03-361-4111

◆墓地の企画・造成をはじめ、開発・経営許可の申請手続きの代行、資金のご相談、永代使用申込者(檀家)の募集受付・管理業務、建築設計・施工請負など、すべてお任せください。

◆納骨堂、無縁供養塔の建立もお受けしております。

◆寺院仏教、檀家の方の仏壇、位牌のご注文を承ります。

お気軽にご相談ください。

